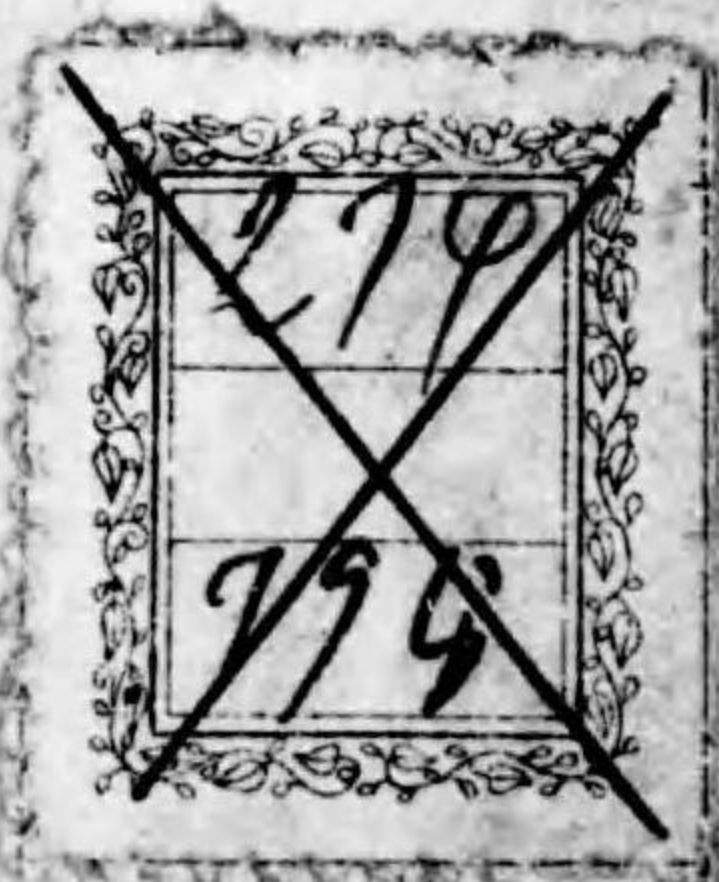


特100

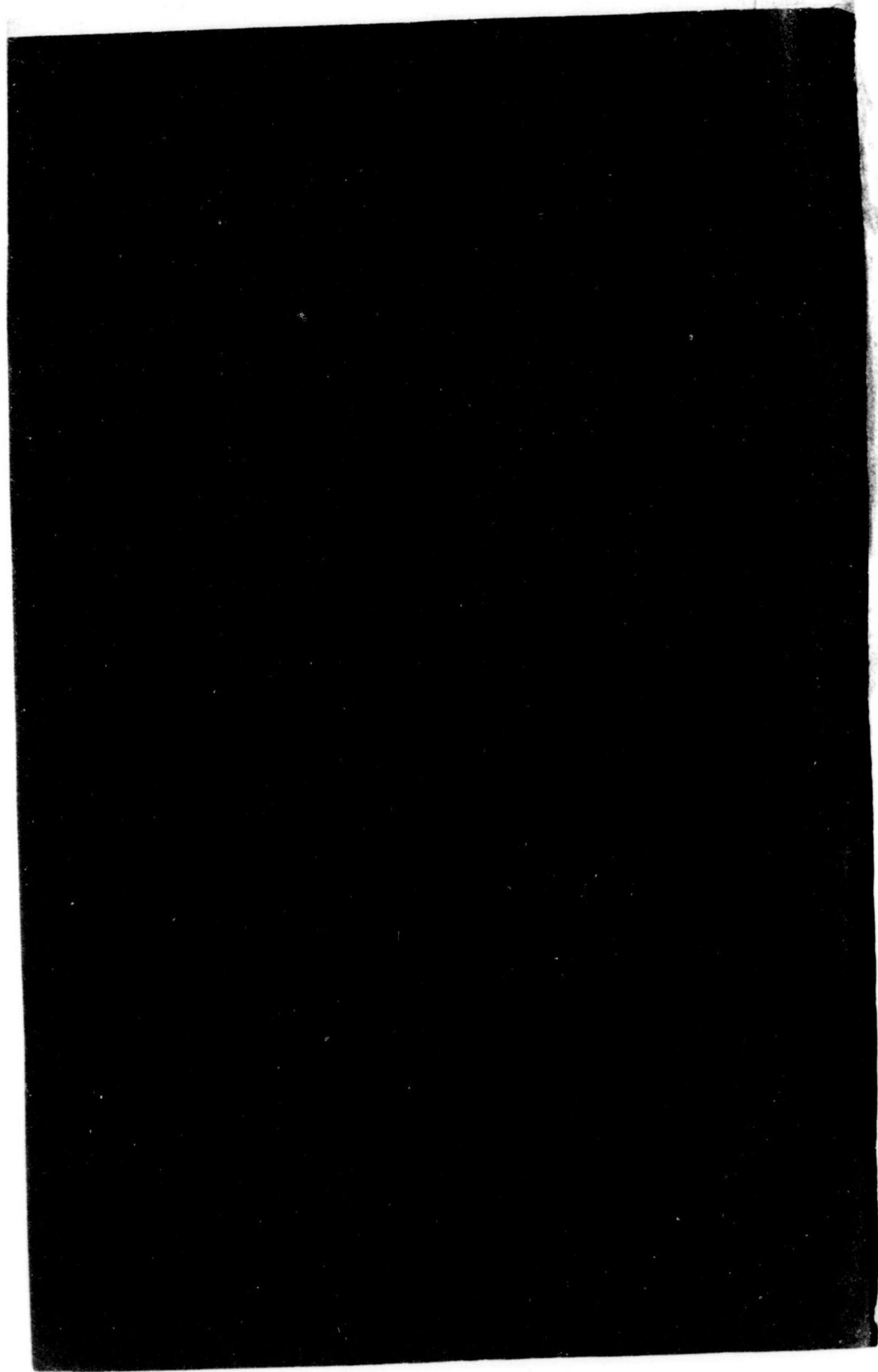
543

農家の錦囊



始





特100
543

農業顧問問目次

作物の部

- 麥にアンモニア肥料施用得失
- 果實落下の原因
- 茄子の貯藏法
- 根深大葱栽培法
- 大根の滴肥及栽培法
- 桃の栽培法
- 南瓜落蟻の理由及豫防法
- 茄子移植後枯死する理由
- 寒ウソ栽培法
- 甘柿澁取法

一 全 頁
 二 全 頁
 三 全 頁
 四 全 頁
 五 全 頁
 六 全 頁
 七 全 頁
 八 全 頁

大正
 3. 4. 30
 内交

○柚子貯藏法

○夏大根貯藏法

○密柑の適地

○畑の『クセ』を豫防する法

○里芋の貯藏法

○馬鈴薯の貯藏法

○薄荷の栽培法

肥料の部

○石灰の性能及効害

○緑肥の肥料成分

○人尿の有害作用

○堆肥製造法及施用法

○硫酸アンモニアの施用注意

九頁

十頁

全

十頁

全

十二頁

全

十五頁

十六頁

十七頁

十八頁

二十頁

○果樹類の施肥期

○草花の肥料

○糞肥料

○肥料としての醬油粕

○油分多き魚肥

病虫害の部

○桑樹紋羽病豫防及驅除法

○蚜虫豫防及驅除法

○南瓜の落蟊豫防法

○油虫驅除別法

○二斗式『ボルドー』液の製法

○鶏羽虫驅除法

○盆栽品の害虫驅除法

廿二頁

全

廿二頁

廿三頁

廿四頁

廿五頁

全

廿七頁

全

廿八頁

廿九頁

全

- 梨黒星病豫防法
- 米喰虫の簡易なる豫防法
- 大根腐敗病豫防法
- 甘藷の割れ目
- 副業の部
- 蒟蒻の製造法
- 除虫菊の栽培製粉貯藏法
- 片栗粉の製法
- 甘藷酒の製法
- 簡易白玉粉製法
- 椎茸栽培法
- 鶏の肥満法

(目次)終

四

三十頁	全
卅一頁	全
卅三頁	全
卅四頁	全
卅五頁	全
卅六頁	全
卅八頁	全

農業顧問

秋津村農業技術員

作物之部

武田孝太郎 編

○麥にアンモニヤ肥料施用得失

一時に多量施す時は病害に罹り易し故に數回に分施すべし單用する時は葉莖いたづらに繁り實收少なき故糠又は過磷酸肥料の如き磷酸質肥料を混合して施すべし

○果實落下の原因

柿や梅の未熟の内に落下するは剪定にも因らんが肥料の不足なる故春發芽前及び收穫後に人糞尿油粕堆

肥等を施すがよい、又柿には成果前に稀薄なる塩水を施すも良法である又あまり多く結果しゑる時は適宜摘果するがよい

○茄子の貯藏法

槽の中に細砂一斗を塩四升に混ぜて入れ之に新鮮なる茄子を埋め置く時は色變らず迄て久しく貯藏するを得べし

○根深太葱栽培法

根深太葱は土壤を深く耕し畦巾一尺五寸乃至一尺八寸とし深く畦を作り一反歩に對し堆肥三百貫桶の粕

廿貫人糞尿二百貫過磷酸石灰四貫木灰五六貫位を施し苗を二寸の距離に一本づゝ一方に立て懸けて土を淺く被ひ後成長するに従ひ土を寄せ遂に根本に土を盛り上ぐものとす

○大根の適肥及栽培法

肥料は堆肥二百貫人糞尿二百貫過磷酸石灰六貫（一反歩につき）栽培法は土地を深く丁寧に耕し櫻島聖護院等大なるものは畦巾二尺五寸株間一尺八寸練馬方領宮重等普通のものゝは畦巾一尺八寸乃至二尺株間八寸とし一反歩の下種量は五合乃至八合發生後は間

引き中耕除草等適宜に行ふべし土質は深き砂質壤土が最適します

○桃の栽培法

桃は温暖なる氣候を好み高燥なる砂質壤土に適す肥沃なる地にては樹脂を生ずること多く苦味を帯び良品を産せず繁殖は三月上中旬實生桃、牡丹杏、李、梅台等に接木すべし 又八月下旬より九月下旬迄に芽接法を行ふもよし此樹は頂芽の發育強盛にして横枝を生ずること少きを以て剪定に注意すべし 果實は常に前年の新枝に着生するを以て結果せし枝は其

年の冬に短く剪りて更に之より後年結果すべき新枝を發生せしむべく本年に結果すべき枝も亦上端を剪りて主ら樹液の結果部に運ばれんことをはかるべし 樹形を數ふるには初年には苗木を七八寸に切斷し二三枝を出さしめ落葉後七八寸に剪定し二年目には毎枝より二三枝を伸さしめ秋末新梢を一尺位に剪定し三年も同様にして次第に盃狀に仕立つるを可とす肥料は三月と九月に施して可なり

○南瓜落皴の理由及豫防法

南瓜の青くて落皴するは肥料の不足と花粉交配の不

充分とに依りますから充分肥料を施し昆虫の少なき時等は人工的に雄花の花粉を雌花の雌蕊に付けてやりなさい然し窒素質肥料多きに過ぐる時は味を害ひ舛から注意なさい又適宜枝を摘むが良くあります

○茄子移植後枯死する理由

立枯病又は舞病或は茄子の『コロリ』といふ物なり原因は『パチルス、ソラナセアールム』ある細菌の寄生に因り發生するものにて其豫防をなすには苗床一坪に付き木灰三合又は硫黄花一斤或は生石灰二合を土に混じて播種すれば被害を免るを得べし又移植時根

本に木灰を置くも亦可なり

○寒ウド栽培法

寒土當歸の芽は播種せしより二年目の冬に至れば採收するを得べし其發生前の手入は播種したる翌年の春一旦根を掘り取りて移植するなり 移植の地は畦巾は五尺に立て其間は低き溝状となし 此地を尙ほ八九寸堀下げ堆肥を敷くこと數寸、其上に苗を一尺の距離に一株づゝ栽植し堀下の際生じたる土を覆ひ薄き下肥を施し時々除草培養すべし秋の彼岸に至り株の能く太りたるものは根際より刈取り其の株の上

に移植の際に盛上げたきたる土を覆ふこと六七寸と
なすときは十餘日にして新芽發育し土地の表面龜裂
するを見る此間高さ七八寸も土を盛り掛け遂に二尺
五六寸の高さとなす 十一月上旬より漸次採收し得
らるゝなり

○甘柿澁取法

甘柿の澁味を去るに最も簡單なる方法はあきたむか
りの酒樽を求め樽の上面に手の自由に出入する様穴
を穿ち柿をつめ而して穴を密閉し一晝夜置く時は澁
味全く去るのみならず酒香ありて味よろしく販路廣

きものなり但し樽を二三回と用ふる時は酒を二三合
吹きかける様注意すべし 亦最も安價なるは粟稈又
は大豆壳を煮出し華氏七八十度位に水を増し而して
柿をつめ冷るざる様藁を用ひて包み置かば一晝夜に
してよろし味前法より劣るもれど心得べし

○柚子貯藏法

柚實貯藏法は先づ石油の空箱の如きもの或は別に箱
あれば充つべし、之に川砂の好く乾燥したる者を盛
り是の中に該柚實を入れ良く砂を蓋ひ濕潤ならざる
室内に置くべし 斯くの如くする時は優に三四ヶ月

間は保存する事を得べし

○夏大根貯藏法

夏大根を完全に貯藏するには種々れ方法あれども、就中土地の乾燥したる畑土を深く掘りて溝をかし大根の葉莖を切り取り、根身のみを逆になし、成るべく根の見ざるまで覆土するを最も良法となす

○密柑の適地

密柑は如何なる土質にも栽培するを得るが概して排水良くして有機物に乏しき瘠地を好むの性あり斯る土地に栽培しうる者は果皮薄く滑らかにして疵瘡を

生ずること少なく甘味に富み酸味強からずして品質佳良なる可し、最適地と稱せらるゝは礫を交へたる粘壤土で之に亞ぐは砂質壤土である

○畑れ「クセ」を豫防する法

畑の「クセ」を豫防するには畑を耕起する際一段歩に對し石灰廿貫目乃至廿五貫を撒布して鋤込むも可なり又播種の際堆肥の如きものには石灰若しくは食鹽を適宜に配合するも可なり

○里芋の貯藏法

里芋の貯藏法は種々あれども最も簡單にして且つ安

至なるは土中に窖を設け其中に貯ふにあり、其の方
法は窖の長さ適宜にして貯へんとする薯は採收後數
日間日光に曝露して乾燥し健全にして損傷なきもの
をゑらみて堆積し上を藁にて被ひ更に其上を土にて
被ふべし

○馬鈴薯の貯藏法

馬鈴薯を貯ふるには掘り取りたる後二三日間日光に
乾かし俵に入れて火爐又は火を焚く上に八、九尺を
隔て竹座をかけ其上に置けば越年貯藏するを得

○薄荷の栽培法

氣候寒き地方にして細砂より成る下層深く濕氣多く
日光良く透射し彭軟なる處を撰みて先づ畑を十一月
に耕し人尿油粕を施し一尺五寸距りに根を挿植すべ
し如斯せば翌春新芽を生ず之は温暖な地方に行ふ法
にして寒地に於ては春期發芽前古株より新芽五六寸
生長せし頃掘り取り二本を一株とし六七寸の距離に
植ふるなり此時は大概五月頃とす何れも植付後稀薄
なる尿水を施し充分生長せば油粕等を草木の灰に混
じ一株につき一握位宛施すべし此後は生長極度に達
する迄は二回位中耕を施すを以て足れりとす

肥料の部

○石灰の性能及効害

石灰は肥料成分を有するものに非すと雖も左の如き特性を有す、然し年々施用すべからず通常三四ヶ年毎に一反歩に三四十貫匁を施用すべし、石灰濫用の害に罹りたる土地は容易に回復し難し故に注意して施用すべきなり

石灰の効用

- (一) 重粘なる土地を多少輕鬆にす
- (二) 土壤中の有機物の分解を促す

- (三) 土壤中の不溶解物を溶解す
 - (四) 種々の害虫を殺滅す
- 石灰濫用の主なる害

- (一) 石灰を多量に用ふれば土地瘠薄となる
- (二) 土壤中の礦物質を固結し地下に硬盤を生じ水を停滞せしめ種々の害を來す
- (三) 石灰を多く用ふれば作物の品質を粗悪にす

○綠肥の肥料成分(十貫匁中)

肥料名	水分	有機物	窒素	磷酸	加里
紫雲英	八、二〇〇	一、七〇〇	四	九	三七

豌豆	八、一五〇	一、七一〇	五	一五	五
蚕豆	八、二〇〇	一、七一〇	五	三	四
大豆	八、〇〇〇	一、八三〇	五	八	七
赤苜蓿	八、〇〇〇	一、八六〇	四	三	四
白苜蓿	八、〇五〇	一、八二〇	五	一八	三

○人糞の有害作用

夏日植物に人糞を直接せしめて枯死する理由は人糞は濃厚なる肥料ですから夏季は乾燥はげしきときは却て人糞の爲めに根の水分を吸ひ去られて枯死するのです故に二三倍に稀薄して用ふるがよい殊に新し

き人糞は土壤中に水分を濃厚にしますから水を加へて腐敗せしめて用ひねむなりません

○堆肥製造法及施用法

堆肥の材料は家畜の糞尿に其敷藁の混合せる所謂厩肥なれば極上等の堆肥を得らるべしと雖も厩肥なきときは稻藁麥稈其他各作物の莖、葉、根、原野の雜草樹木の落葉、塵芥其他の廢物何にても可なり 之に庖厨の魚骨其他の廢棄物、小動物の屍体等を混すれば一層可なり、貯藏の要点は雨に曝さざること、日光に直射せしめざる事、燃燒せしめざる事等なり

故に之を製するには小舎を建て、屋根を覆ひ、東西及南の三方は下より二三尺壁又は土堤を繞らし、北の一方は蓆を吊し、底は石灰敲又は粘土にて塗りかため隅の方に少しく傾斜せしめて其外に漏液を受けらる溜桶を埋むべし、堆積するには底に一尺程積みて其上に土を一寸程布き又其上に材料を積みて土を撒らし層々相重ねて五尺内外に至りて止む、堆積の四方の側及び上下兩面は冷却、乾燥等の爲め腐熟充分ならずして中央のみ能く腐熟するを以て二週間乃至二十日目毎に積返しを行ひて能く腐熟したる部分と

然らざるものとを混合す、濕氣少きときは溜桶の水を注ぐべし施用法は材料原形を失ひポロ／＼となりて握れば土の如くなりて褐色の液を搾り出すに至れば充分腐熟したるものなれば之を各作物の基肥に供して可なり

○硫酸アンモニヤの施用注意

過磷酸石灰と混合し置くは悪し又木灰と混合する時はアルカリ性の作用にてアンモニヤを放散せしむる故大に注意するを要す 而して此肥料は握りて固まるものは性質悪し之れ硫酸多き爲めなり

○果樹類の施肥期

苹果、梨等は寒中より春季發芽前迄に一回、之は長大迅速なる生長を遂げしめんが爲に施し次に果實の榊子大に成長せし時速効肥料の少量を施し、最後に果實採收後勢力恢復の爲に相々多量に用ふべし、葡萄も同じ、柿は九月より十月迄と一月より四月迄に二回に施用すべし、蜜柑は一月より二月迄か四月中旬に施用すべし

○草花の肥料に就て

草花に限らず總て植物の根邊へ直接に過磷酸石灰の

如き化學的肥料を施すのは有害である、過磷酸を用ひるには少量を土と共に混じて施すがよい決して多量に用ひてはならぬ、かくすれば草花は徒長せず強健となり花色も鮮麗となる、草花の最適肥料は園藝肥料を用ひてもよいが私は魚洗汁を貯へて置いたものと油粕を水にとかして腐熟せしめたものを用ひるが効能あると思ふ

○鶏糞肥料

鶏糞は其肥性甚だ強烈なるものなれば軟弱なる作物には害を及す事ある故注意すべし又濕地に栽植せる

根菜には最も適す故施用法としては能く乾燥せしめたるもれを糞溜に溶解おし能く醱酵せしめて施すべし参考の爲百分中肥料成分を左に記す

窒素 三、八〇 磷酸 二、八三 加里 一、〇七

○肥料としての醬油粕

醬油粕は窒素に富めるを以て稻作の肥料として最も良好なる可し只鹽氣を含むこと多きが故に同一の作に屢々用ゆるは宜しからず。微の生じたる者は多少の養分は損失するものなるやは存せざれども左に醬油粕十貫匁中に含有する三要素の養分量を示さん

窒素 二〇二

磷酸 二二三

加里

八八

○油分多き魚肥

油分は肥効無きれみならず之を含有すること多き時は該肥料は分解を妨げ却て有害の作用をなすものなり然るに農家が油分多き干魚を好み又商人が油分多きものを高價にするは奇怪なる現象なれども干魚の原料たる鰯鯡等が油分を含有すること多き時は養分亦多き傾あり故に油分多き干魚を完全に肥料として施用せんには干魚を粉粹したる後其量の三分の一位の草木灰を混じり二三日堆積し置き施用すべし

病虫害の部

○桑樹紋羽病豫防及驅除法

本病は『リコバジュームプルプレウム』と稱する菌の寄生によりて起る物にして桑樹のみでなく松杉檜及甘藷等にも寄生す之を豫防驅除せんとせば第一桑園の排水を能くし病菌の繁殖に不適當ならしめ且本病に罹りたるものは根部に生成せる菌糸網を剥き取り焼却すべし

○蚜虫豫防及驅除法

蚜虫は梅に限らず凡ての果樹庭樹畑作を問はず殆ん

とあらゆる植物の幼芽幼莖等に群生し其管状の口を以て其寄生せる部分の組織内に挿入して之より汁液を吸収し其害甚し之を驅除するには煙草又は苦木れ煎汁或は石鹼水を注ぐ事除虫菊粉を撒布すること等なり石油も亦枝に生せし場合には用ゐて可なり此虫は其腹部より甘味ある一種の粘液を分泌するを以て蟻は常に之と共生し之を保護して其蕃殖を助くるを以て蟻の樹に上るを防ぐは亦此虫害を防ぐの一法なり又敵虫を愛護し之として捕食せしむるも亦妙なりクサカゲロウ、ヒラタアブ、テントウムシ、寄生蜂は

敵虫なり

○南瓜の落蟻豫防法

南瓜の青くて落果する理由はつまらぬ肥を與ふるか又は肥料の過ぎたるより來ることあり之を豫防するには一本につき鹽一合或は二合を根本に入れおけば必ず落蟻せざるものなり

○油虫驅除別法

油虫(蚜虫)は石油乳劑を撒布するが最も良い其製法は五合の水に洗濯石鹼十二匁乃至二十四匁を入れて溶解し之に石油一升を加へ水鐵砲の如きものにて液

と空氣と混じり乳白色となれば出來上りたるなれば之に二斗乃至二斗五升の水を混じり噴霧器の類にて撒布するのでなる

○二斗式『ボルドー』液の製法

水一斗を入るべき桶二個を備へ硫酸銅百二十匁を寒冷紗の袋に入れて水一斗を入れたる桶中につるし置く時は五六時間にして溶解いたします、他の桶に石灰百十匁を入れ攪拌しつゝ徐々に水を注ぎて一斗とあし寒冷紗又は麻布にて漉し二桶の溶液を他の桶に同時に灌ぎて克く混和すれを宜しむのです。

して出來たる液の良否を試験するには研きたる小刀を入れ錆が付けば植物に害有の證です此場合には石灰液を増加し錆の付かざるを適度といたします

○鶏羽虫驅除法

驅除法中偉効あるは近來稱用せらるゝ『アルボース』劑の撒布なり

○盆栽品の害虫驅除法

盆栽品の害虫を驅除するには藥液を用ふることあれども物によりては之を汚し又は花の美を損することあれば盆栽の如き細き世話を要するものは朝夕除虫

紛の如きものを撒布せらるべし

三

○梨黒星病豫防法

開花の頃より果實が母指頭位に達する間に三斗式『ボルドー』液を十二三日乃至二週間毎に撒布すべし(但し花の満開中は避くべし)雨の後は直に撒布すべし凋落したる被害葉及び果實は集めて焼きすつべし

○米喰虫の簡易なる豫防法

米喰虫を豫防するには川柳の枝を五六寸の長さに切り一俵に三四本づゝの割合にて俵の中に挿し置けば宜しかるべし

○大根の腐敗病豫防法

大根の腐敗病を豫防するには硫黄粉若しくは硫酸銅石粉を撒布すること又は硼酸一匁三分許りを水五合五勺に溶解して之を注射すべし

○甘藷を割れ目

甘藷に割目の生ずるは上畑に栽培して草木灰を施用せしものに多し開墜地に栽培して米糠を肥料として栽培せば肉質緻密平滑にして味良好なり

副業の部

○蒟蒻の製造法

蒟蒻を製するには先づ根塊の黒き外皮を剝き去りて石臼にて搗くか或は豆腐の大豆を挽くが如く挽きつぶして水と共に糊状となし又黒皮を去りて庖丁にて削りて乾すこと三四日間にして搗きて細粉となし此粉に水を加へ踏み交せて糊状となし更に石灰汁を加へ一定の模型に入れ尙石灰汁を加へたる水にて煮るなり、定量は粉一合に水三升石灰は水に溶解したる上澄を杓子に二杯あり

○除虫菊の栽培製粉貯藏法

九月中下旬頃床揚を設け腐熟せる堆肥人糞の類を原肥として撒播し發芽後冬期寒氣を豫防する爲藁の類を被ひ置くべし、春季三月に下種するにも前同様床揚に播種し時々稀薄水肥を施し寒季乾燥を豫防し其苗は稍生長せし頃別圃に密植し置き適當の生長を待つて本圃に移植するなり、移植後の培養は唯除草に注意せば可なり肥料には人尿油粕魚肥等を施して發育を盛ならしむべし、五月下旬に至れば開花するが故に花心半ば開き花粉の破裂したる時をはかり摘み

とりて二三日間乾燥し藥研又は石臼にて粉末となし細かき篩にかけて曇に詰め密閉貯藏すべし

○片栗粉の製法（ジャガイモ）

春秋花は全く散り果て、結實せる頃塊根を掘り採りよく洗ひ土を去りワサビオロシですり笊にて漉し其桶の中へ入れて上方は清くありたる處を捨て下の濃き處を美濃紙又は絹の上に載せて乾かすなり

○甘藷酒の製法

甘藷の皮を去りて厚さ一分半程に切り笊に入れ鍋に湯を沸し笊ながら鍋に入れ熱き茶二三杯飲む時間の

程置き其儘上げ竿を滴し摺鉢にてよくすり冷へたる
時酒を入れ練酒の様にのべ徳利へ入置き用の度々爛
をして出すなり五日間程は持つものなり

○簡易白玉粉製法

純白なる米及餅米を等分に和し細末の粉にして、寒
の水に十日斗り潰置くべし(尤も日々水を換へること)
然る後水を流して晴天の日に晒し水氣を取りて貯へ
置き入用の節は粉をば湯にて解き丸めて煎湯中へ落
し入るるなり始めは沈あるも終には浮くべし

○椎茸栽培法

椎茸培養の用木は主として小櫓、大櫓、椎、栗、櫟、
いぬぶな等なり内小櫓を第一とす

用木伐採期 徑二寸位より一尺内外のものを可と
す、秋季樹液の循環止みて木は葉黄色を帯びたる時
を最適期とす、先づ根元より切り倒し其儘枝を切る
ことなく、翌春迄放置すべし

下種法 已に切り置きたる木を翌春に至り適宜の
長さ(四、五尺)に切りつめて適當の陰地に運び一々
木の元口を下に向け鉋を以て木質部に達する迄切り
目を付くべし、次きに自然に發生せる椎茸の木の菌

絲蔓延して白色になりたる皮層部とはぎとり桶に入
れて粉の如くに摺りつぶし水を注入してよく攪拌し、
件の枡木の切目に一々丁寧に水と共に摺込むべし、
かくて終りたる時は枕木を置き其上に積み上げ菰類
にて被ひ乾燥をふせぐべし然る時は早きは翌年より
遅きも二年目には必ず茸の発生を見るべし

○鶏の肥満法

鶏を肥臘せしむるには其運動を禁じて小麦、モロコ
シ粉、小魚類、蔬菜類等滋養分多きものを與ふべし
三四週間にして肥臘すべし但換羽期には此法に依る

も肥臘せざるものなり

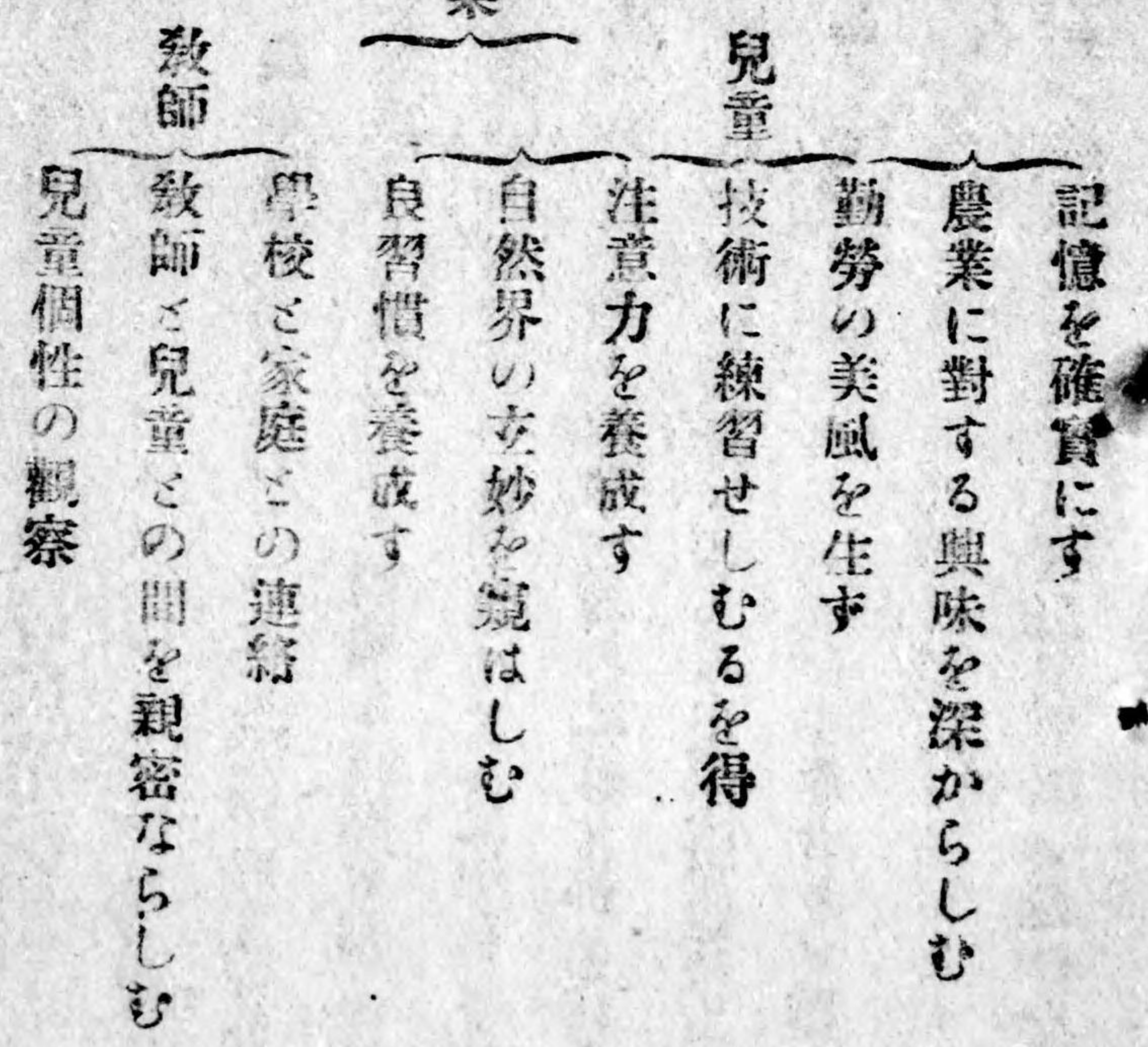
農業科實習上の卑見

秋尋高 武田 孝太郎 誌
訓導

小學校の農業實習は中等程度以上の學校の如く技術の習得に重きを置き大仕掛に行ふものと異り唯小仕掛にして趣味の養成に力の専ら實驗的に行ふものなり而して實習は農業の學と術とを連鎖をなすものにして其効果の大なるは言を矣たすと雖も其目的に達せんには訓練と程度の參酌と經營の方法に尤も注意するを要す

次に實習効果を表示すれば左圖の如きものならん

實習の効果



三
研究中に属する秋津校の農業科

實習の現況

全校に於て農業實習地を設けしは大正元年度よりなり
初めて實習を課する事故諸般の設備に注意を拂ふは當
然なるも實習其もの、効果を知らざる父兄中には稍々
懸念するものありと聞さし故一層の注意を拂ひ徐々に
此課の進行を進め先年度秋作として白菜大根等の栽培
をなさしめしに稍々見るべきもれを生産せりと雖も一
は本校職員協力して害虫の驅除に盡力せられしに因れ
り惟ふに此一作により兒童も父兄も實習の趣味を稍々

得たる感ありと覺えて以下設置以後の經營につき述べ
ん

一、實習地

本校の實習地は校地に接屬しあるも土質泡沸石土にし
て且つ瘠地なり因て大に土質改良の必要あるものを以
て之に充つ現在の面積は約壹反貳畝歩にして實習人員
に對し一人當り耕作地(道路を除き)七坪余の割合なり

二、實習地の區分

本校に於ては區有圃共有圃花壇練習地の四つに區分せ
り

區有圃は各區の耕作地に充て且つ更に之を個有せしむるものとす

共有圃は各區の共同作業地にして各種の栽培をなさしむるものとす

練習地は各種の作業を練習せしむる處に充つ

三、作業時間

本校に於ては設置以來毎週四時間の實習を課し作業時間は毎週五三時間とせり而して現時は火曜木曜に一時間半宛の實習をなせり

四、栽培作物

實習地に栽培すべき作物は可成的容易にして成熟早く興味を起すに適したるもれを撰びたり而して設置以來栽培せしは白菜、大根、蕪菁、牛蒡、人參、麥類、甘藷大豆、唐モロコシ、除虫菊等なり

五、實習の方法

實習の組織

本校に於ては第二學年を甲班とし第一學年を乙班とし甲班は三區にて乙班を四區に分ち班に班長を區に區頭を置き各責任を負はしむ

高等科

第二學年	第一區
甲班	第二區
	第三區

第一學年	第一區
乙班	第二區
	第三區
	第四區

實習前後の集合

實習時間集合地を一定し之に各區順に整列せしめ其日は作業上の注意方法順序等を示し實習を再びせしむ

集合せしめ其日の作業の批評説示をなす

整理週番を設く

週番は各區毎週之に當り週番は毎日必ず圃場納屋其他一般の整理整頓の任に當り實習日誌勤惰表等の記入をなさしむ

實習豫告板

豫告板を設け翌日の實習を豫告し準備に便ならしむ

諸帳簿

次の諸帳簿を備ふ

實習日誌。勤惰表。栽培作物明細表。製繩控簿

實習兒童心得（現今實施のもの）

九

第一條 兒童は實習監督の命令を遵守し作物農用器具の取扱は懇切を旨とし粗暴な行爲あるべからず

第二條 兒童は實習就業前指定の場所に集合すべし

第三條 病氣又は事故により實習を欠課せんとするものは其事由を具し許可を受くべし

第四條 農具は常に注意して取扱ひ業終らば能く掃除し指定の場所に置くべし

第五條 破損又は紛失の場合は班長を経て申出づべし

第六條 作物は監督の指示あるに非ざれば濫りに採取することを得ず

第七條 天候により實習時間以外に於ても便宜就業せしむるこゝあるべし

第八條 過番は毎日必ず圃場を巡視し一般の管理整頓をなすべし

第九條 實習終らば監督の命により指定の場所に集合すべし

第十條 作業中粗暴不熱心のものには相當に處罰をなすべし

十

雨天の場合

實習時間に於て天候により野外實習出来ざる場合は藁細工を課し繩畚等の製作をなさしむ

六、實習上の設備

設備の完全は希望する處なるも經費の俱なふこと故一時に完全を期する能はざるも現今設備しあるものを列擧すれば次の如し

- 一、人糞貯藏所 一ヶ所
- 一、納屋 一棟(六坪)
- 一、鍬 七挺

七、校外實習

- 一、シヨムル 壹挺
- 一、肥桶 七個
- 一、肥柄杓 八個
- 一、畚 七枚
- 一、策 三個
- 一、樹 三個
- 一、秤 壹挺
- 一、鋏 壹挺
- 其他

校外實習として各兒童をして家庭に於ける一坪農業を
なさしめ白菜其他を栽培せしめ之が品評會を開き成績
物れ査定をなす但し一坪農業は尋常五六年にも之を課
せり 尚校外實習として苗代の害虫驅除黒穗拔取をも
あさしめ居れり

八、雜

試食會

一作物成熟の期を以て試食會を開き職員
の談話等をなさしめ大に農業の趣味を深めしむ
以上は現下の研究に属するものなるも今年度に於ては

前年度に比し確に兒童は熱心比度を高めたるを認め
り故に此際奮勵以て事に當らば益々實習の効果を收む
るを得む

附錄

地方營業案内

湊商業銀行鉾田代理店
水陸運漕業

鹿島郡鉾田町

堀米半右衛門

吳服太物
最新流行
新柄各種
洋物類

鹿島郡鉾田新町

龜屋吳服店

君和田文次郎

第十四師團指定

旅 館

鉾田町

澤屋號

本澤孝太郎

内外農林産各種
苗改良農具一式
製繩製蒔機販賣

鉾田町

育種園分

店

岩田屋號

御料理店 高須安次郎

鉾田横町

吳服太物洋物簞笥長持
御婚禮物一式京染物取扱

鹿島郡銚田町橋向

柏屋號 鹽谷福次郎

銚田横町

御料理 美家古亭

仕出

寺内庄之助

御菓菓子調進所

銚田町 豊町

塙支店

鐵工車製業

銚田町 久保 淺吉

精酒瓶 醬油販賣

銘酒 すみ田川

遠峰支店

遠峰米藏

水陸運漕迅速

內國通運株式會社

銚子汽船株式會社

汽船荷客取扱所

新堀岩次郎

內外科

婦人各科

懇切治療

銚田町橋向

塙醫院

和洋金物一式
石灰、農具類

大 販 賣

大あじや號

眞家吉之助

銚田町橋向

材木商
建築請負
大勉強

銚田町橋向
荒野富太郎

太物荒物
大販賣

銚田町
富士屋號
木村清右衛門

鉾田大貫間

乘合馬車營業

鉾田小川間

鉾田町

白田周三郎

白菊精酒一手卸小賣

精米薪炭大販賣

鉾田新町

香長商店

精 精
麥 米

大勉強御依頼も應ず

精米精麥販賣

銚田精米所 松本眞

銚田町古宿

染物一式紋書き

大勉強

洗はり志こぬき

銚田銀行西隣

明治屋染物店

各國自轉車大勉強せんばい

修繕迅速勉強

銚田町警察際

富田自轉車店

銚田町橋向

味噌大勉強

堀米味噌店

販賣

和洋酒類

銚田町橋向

青物乾物

巴屋商店

五十集紙類

内外薬種

文房具一式

大勉強

石岡ビンボー鎌

一手販賣

銚田新町角

土子薬店

清酒醬油

カブトビール

卸小賣

石岡泉川
浅田支店

大聖寺林之助

履物

大

鼻緒勉

豊島屋太三郎

ツマ掛

強

銚田新町

桐材

販

賣

和洋御菓子

御引物調進

大勉強

銚田名産バナナ羊羹元祖

岩田屋菓子舗

純良無菌牛乳

精米販賣

銚田町

栗原牧場

鐵物各種

アルミニウム

瀬戸引鍋

改良銅鐵打物

大勉強

銚田新町角

福田支店

製麵

販賣

大勉強

銚田新町

渡邊製麵所

和洋御菓子

調進

大勉強

銚田新町

丸子商店

御料理仕出し

旅館

銚田町橋向

新和泉屋

銘茶荒物青苳乾物五十集

塗物砂糖種物一式

大勉強販賣

八ッ橋號

須藤寅次郎

各國自轉車迅速勉強修繕
附屬品一式販賣

鉢田新町通り

伊勢

一

大正三年四月二十日印刷

大正三年四月廿三日發行

正價金貳拾錢

茨城縣行方郡秋津村高田六番地

編輯兼發行者 武田孝太郎

茨城縣鹿島郡新宮村畑田百番地

印刷者 鬼澤德太郎

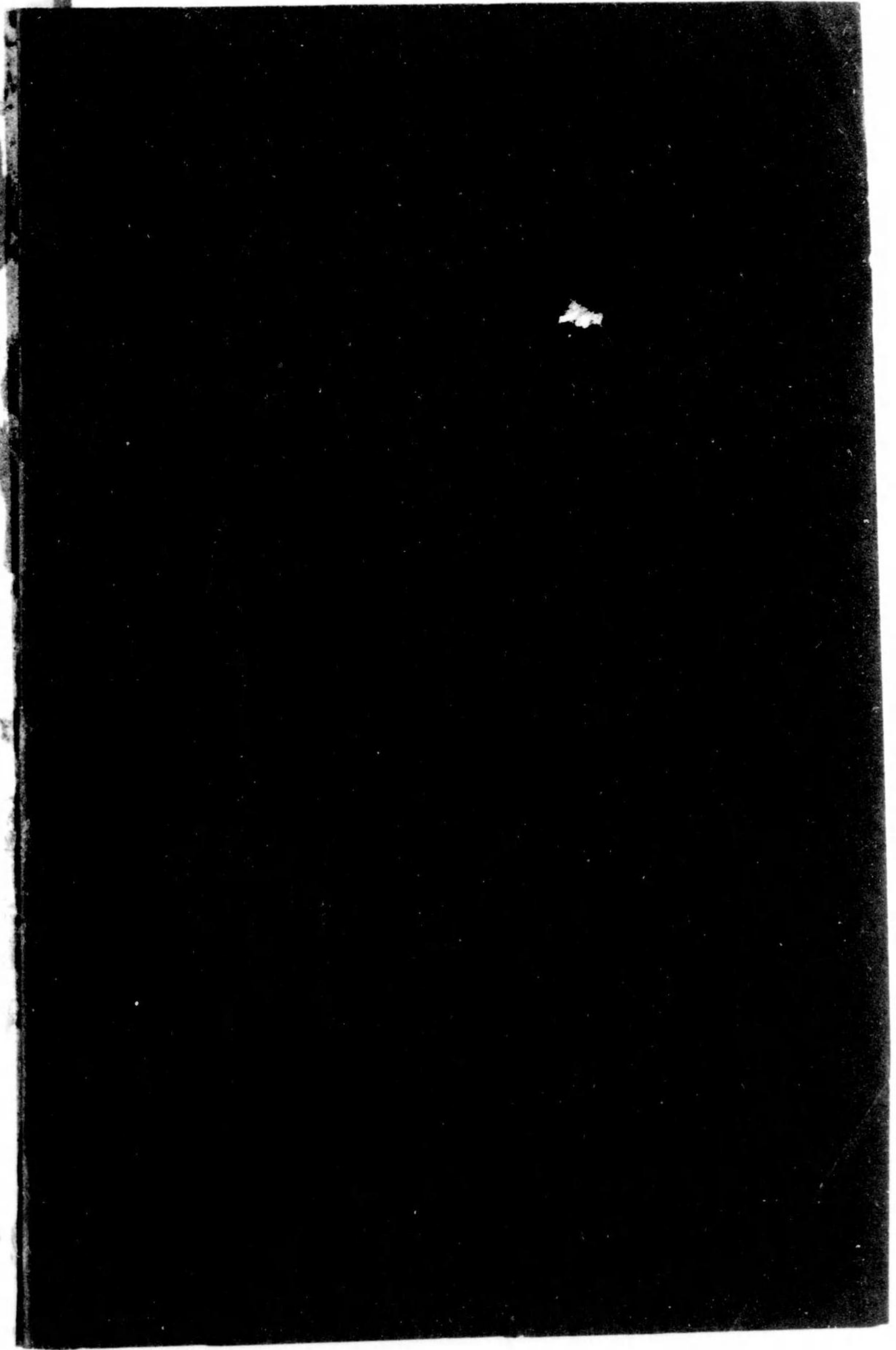
茨城縣鹿島郡鉾田町九頁十九番地

印刷所 大安堂

發行所 水西吟社

不許
複製

279
795



終

